

D号様式（再エネクレジット算定ガイドライン）その1

申請者が複数存在する場合は、申請者のうち一名を記入し押印してください。この場合は、赤点線のセルを「〇〇（他の申請者は別紙申請者一覧のとおり）」をプルダウンで選択してください。

なお、「事務手続の委任」を行う場合は、代理人の住所・氏名を入力します。ここで入力した代理人が申請者も兼ねるときは「〇〇兼別紙申請者一覧の者の代理人」を選択してください。また、代理人を申請者以外の者とするときは「別紙申請者一覧の者の代理人」を選択してください。

2021年 9月 1日

東京都に提出する日付を入力してください。

所有者

住所 東京都千代田区〇〇町一丁目×番1号

氏名 株式会社 △△△自然 エネルギー発電

代表取締役 大江戸 太郎

代表者印

（法人）は名称 代表者の氏名

法人の場合、上側のセルに法人名称、下側のセルに代表者の役職及び氏名を入力してください。個人の場合は、下側のセルに氏名を入力してください（上側は空欄としてください。）。

再生可能エネ

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第5条の1 1 第1項第2号エの「環境価値換算量」について、総量削減義務と排出量取引制度における再エネクレジット算定ガイドラインの規定により、電力量認証を次のとおり申請します。

東京都が通知した、再生可能エネルギー設備認定通知書（G号様式）の内容を記載してください。

指定地球温暖化対策事業所の場合は、指定通知書に記載の4桁の数字を記入してください。

設備の所在地	〇〇県 ××市□□町一丁目1番1号		
設備認定番号	00000	指定番号	
再生可能エネルギーの種類	特定バイオマス発電	認証可能電力量の合計値 (kWh)	1,000 kWh
電力量認証の対象期間	2020年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日		
電力量認証の対象となる期間の単位は一年度（4月1日以降3月31日まで）を原則とします。年度をまたぐ期間を入力することはできません。	社名	株式会社 △△△自然エネルギー発電	
	郵便番号	100-0001	
	住所	東京都千代田区〇〇町一丁目×番1号	
	所属名	自然エネルギー事業部企画課	
	担当者名	大江戸 花子	
	電話番号	03-□□□□-△△△△	
	FAX番号	03-□□□□-〇〇〇〇	
メールアドレス	<a href="mailto:hanako.oedo@xxxxxx.co.jp">hanako.oedo@xxxxxx.co.jp</a>		
備考			

※受付欄

申請者と異なる法人等の方でも構いませんが、本申請に関して責任を持って対応できる方を記載してください。

※この記入例は、再エネ種類が「特定バイオマス発電」の場合の一例です。再エネの種類ごとに記入する項目が異なりますので注意してください。



認証可能電力量に関する報告書

設備名称 △△△バイオマス発電所

1 認証可能電力量(自家消費)  
(1) 認証可能電力量の算定

**※このシートは、再生可能エネルギーの利用形態に「自家消費」が含まれる場合にのみ作成してください。**

モニタリング番号	把握方法	入力方法	電力量[kWh]												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(1)	実測	転記	100,000	110,000	110,000	105,000	115,000	120,000	110,000	100,000	110,000	105,000	120,000	125,000	1,330,000
(2)	実測	自動	140,000	145,000	150,000	130,000	125,000	135,000	130,000	120,000	140,000	125,000	130,000	135,000	1,605,000
(3)	購買伝票等		40,000	50,000	45,000	30,000	35,000	25,000	45,000	60,000	55,000	45,000	30,000	20,000	480,000

把握方法で「実測」を選択した場合に選択します。把握方法が購買伝票等の場合は、入力方法は記入しないでください。「転記」は、量の把握を計量器直読みにより記録を行っている場合に選択します。「自動」は、量の把握をデータ信号等により自動的に記録を行っている場合に選択してください。

「全発電電力量」及び「電気事業者への送電量」は、上表に記入したモニタリングポイントの情報をもとに、計算を行った結果を記入してください。また、「発電量(補機分を除く)」については、全発電電力量から補機使用電力量を差し引いた値を記入しますが、補機使用電力量を控除した発電量を実測している場合については、実測値をそのまま記入してください。以上の数値を入力することで、認証可能電力量が自動計算されます。※シートその3及びシートその8の値も使用しているため、漏れのないように記入してください。

全発電電力量 ※(注1)	240,000	255,000	260,000	236,000	240,000	255,000	240,000	220,000	250,000	230,000	250,000	260,000	2,936,000
補機使用電力量 ※(注2)	15,037	15,806	15,191	15,187	15,342	14,573	15,651	15,655	15,961	15,651	13,807	14,878	182,739
発電量(補機分を除く) ※(注3)	224,963	239,194	244,809	220,813	224,658	240,427	224,349	204,345	234,039	214,349	236,193	245,122	2,753,261
電気事業者への送電量	40,000	50,000	45,000	30,000	35,000	25,000	45,000	60,000	55,000	45,000	30,000	20,000	480,000
バイオマス比率 ※(注4)	97.3%	98.0%	98.7%	99.2%	99.4%	99.3%	99.1%	98.7%	98.9%	99.1%	98.8%	99.1%	98.8%
認証可能電力量(自家消費)	179,969	185,410	197,211	189,286	188,520	213,919	177,735	142,469	177,070	167,825	203,719	223,096	2,245,981

自家消費に関する認証可能電力量を算定するにあたって、各モニタリングポイントは月ごとに数値を把握する。特に発電電力量の実測は電力量計の写真撮影を根拠に管理する。

計算方法 ※(注5)

【全発電電力量[kWh]】 = { (1)発電電力量計の終値[kWh] - (1)発電電力量計の初期値[kWh] } + { (2)発電電力量計の終値[kWh] - (2)発電電力量計の初期値[kWh] }

【売電電力量[kWh]】 = (3)〇〇電力発行の検針票の数値[kWh]

【認証可能電力量[kWh]】 = { 全発電電力量[kWh] - 電気事業者への送電量[kWh] - 補機使用電力量[kWh] } × バイオマス比率[%]

・設備認定(変更)申請書に記載した「計算方法」を記入してください。  
・年度の途中で設備の変更があり、認証可能電力量の算定方法が変わる場合は、**設備変更前の「計算方法」と設備変更後の「計算方法」を併記し、それぞれの計算方法を使用した期間が分かるように記入**してください。(【例】変更前：4月～10月、変更後：11月～3月)

**モニタリングポイント、計算方法に係る箇所については、東京都が通知した設備認定通知書と同じ内容を記入してください(変更が生じる場合については、あらかじめ設備認定の変更申請を行う必要があります。)**

設備名称	△△△バイオマス発電所
------	-------------

認証可能電力量に関する報告

**※このシートは、再生可能エネルギーの利用形態に「自家消費」が含まれる場合にのみ作成してください。**

(2) 補機使用電力量の算定 ※(注1)

モニタリング番号	補機種別	補機名称	電力量[kWh]												計
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(7)	発電補機	1号発電機復水ポンプ	3,600	3,720	3,600	3,720	3,720	3,600	3,720	3,600	3,720	3,720	3,360	3,720	43,800
(8)	発電補機	2号発電機復水ポンプ	4,800	4,960	4,800	4,960	4,960	4,800	4,960	4,800	4,960	4,960	4,480	4,960	58,400
(9)	発電補機	冷却塔ファン	5,400	5,580	5,400	5,580	5,580	5,400	5,580	5,400	5,580	5,580	5,040	5,580	65,700
(10)	送電補機	昇圧トランス	1,237	1,546	1,391	927	1,082	773	1,391	1,855	1,701	1,391	927	618	14,839
補機使用電力量			15,037	15,806	15,191	15,187	15,342	14,573	15,651	15,655	15,961	15,651	13,807	14,878	182,739

補機使用電力量の実測値又は計算値を記入してください。  
 なお、機器のカタログ値及び稼働時間から算定する場合には、計算の途中過程の資料（何を根拠にし、どのような計算をしたのか分かるもの）についても東京都にご提出ください。

発電補機の使用電力は、各補機の定格出力と稼働時間を用いて算定する。  
 送電補機である昇圧トランスは一律3%の損失とする。

【補機使用電力量】 = 補機(7)の定格出力[kW] × 補機(7)の稼働時間[h]  
 + 補機(8)の定格出力[kW] × 補機(8)の稼働時間[h]  
 + 補機(9)の定格出力[kW] × 補機(9)の稼働時間[h]  
 + 3% / (100% - 3%) × 送電電力量[kWh]

- (注1) 発  
 注  
 な  
 (注2) 補
- ・設備認定(変更)申請書に記載した「計算方法」を記入してください。
  - ・年度の途中で設備の変更があり、認証可能電力量の算定方法が変わる場合は、**設備変更前の「計算方法」と設備変更後の「計算方法」を併記し、それぞれの計算方法を使用した期間が分かるように記入**してください。(【例】変更前：4月～10月、変更後：11月～3月)

**モニタリングポイント、計算方法に係る箇所については、東京都が通知した設備認定通知書と同じ内容を記入してください(変更が生じる場合については、あらかじめ設備認定の変更申請を行う必要があります。)**

設備名称 △△△バイオマス発電所

認証可能電力量に関する報告

2 認証可能電力量(電気事業者への送電)

(1) 認証可能電力量の算定

**※このシートは、再生可能エネルギーの利用形態に「電気事業者への送電」が含まれる場合にのみ作成してください。**

モニタリング番号	把握方法	入力方法	電力量[kWh]												計
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(3)	購買伝票等		40,000	50,000	45,000	30,000	35,000	25,000	45,000	60,000	55,000	45,000	30,000	20,000	480,000
把握方法で「実測」を選択した場合に選択します。把握方法が購買伝票等の場合は、入力方法は記入しないでください。「転記」は、計量器そのものが示す値を直接確認することで記録している場合に選択します。「自動」は、量の把握をデータ信号等により自動的に記録を行っている場合に選択してください。			上表に記入したモニタリングポイントの情報をもとに、電気事業者への送電量の合計値を入力してください。認証可能電力量が自動計算されます。※シートその8の値も使用しているため、漏れのないように記入してください。												
電気事業者への送電量 ※(注1)			40,000	50,000	45,000	30,000	35,000	25,000	45,000	60,000	55,000	45,000	30,000	20,000	480,000
バイオマス比率 ※(注2)			97.3%	98.0%	98.7%	99.2%	99.4%	99.3%	99.1%	98.7%	98.9%	99.1%	98.8%	99.1%	98.8%
認証可能電力量(電気事業者への送電)			38,920	49,000	44,415	29,760	34,790	24,825	44,595	59,220	54,395	44,595	29,640	19,820	474,240

計算方法 ※(注3)

電気事業者への送電に関する認証可能電力量を算定するにあたって、毎月発行される〇〇電力発行の伝票をもとに把握する。  
**【売電電力量[kWh]】 = (3)〇〇電力発行の検針票の数値[kWh]**  
**【認証可能電力量[kWh]】 = 電気事業者への送電量[kWh] × バイオマス比率[%]**

認証可能電力量 (電気事業者への送電)

- (注1) 電気事業者等、発電所の
- (注2) 特定バイオマス発電の場合
- (注3) モニタリングポイントで計測

**モニタリングポイント、計算方法に係る箇所については、東京都が通知した設備認定通知書と同じ内容を記入してください(変更が生じる場合については、あらかじめ設備認定の変更申請を行う必要があります。)**

添えること。

設備名称 △△△バイオマス発電所

認証可能電力量に関する報告

3 バイオマス比率の算定 (特定バイオマス発電)  
 (1) 燃料等使用量の月別内訳

**※このシートは、申請の対象設備が「特定バイオマス発電」の場合にのみ作成してください。**

モニタリング番号	燃料等の種類	燃料等の名称 ※(注1)	単位	把握方法	都市ガス メータ種	入力 方法 ※(注2)	使用量[固有単位]												
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(4)	バイオマス燃料	A社木質チップ	t	購買伝票等			40	45	42	39	44	43	41	45	42	45	42	43	511
(5)	バイオマス燃料	B社木質チップ	t	購買伝票等			50	51	50	52	49	51	50	49	51	51	52	53	609
(6)	A重油		L	実測		転記	890	700	440	240	200	210	300	450	350	290	400	310	4,780

「バイオマス燃料」「その他の燃料」を記載した場合にのみ記入してください。

燃料等の種類に都市ガスを選択した場合については、圧力補正の有無に関してプルダウンリストから選択してください。なお、ここで選択した内容によって標準状態への換算式が変化いたします。詳しくは、再エネクレジット算定ガイドラインの19ページを参照してください。

把握方法で「実測」を選択した場合に選択します。把握方法が購買伝票等の場合は、入力方法は記入しないでください。  
 「転記」は、量の把握を計量器直読みにより記録を行っている場合に選択します。  
 「自動」は、量の把握をデータ信号等により自動的に記録を行っている場合に選択してください。

(2) 燃料等の単位発熱量 ※(注3)

モニタリング番号	燃料等の名称 ※(注1)	燃料等の成分 ※(注4)	全体に占める 使用割合[%] ※(注5)	単位発熱量 ※(注6)	単位	発熱量 の条件 ※(注6)	水分率 [%] ※(注6)	分析の頻度	備考
(4)	A社木質チップ	建築廃材		14.6	GJ/kg	湿ベース		1年間に1回程度	発熱量の分析結果は別添資料1のとおり
(5)	B社木質チップ	間伐材		14.1	GJ/kg	湿ベース		1年間に1回程度	発熱量の分析結果は別添資料2のとおり

3(1)で「バイオマス燃料」「その他の燃料」を記載した場合にのみ記入してください。  
 なお、ここで入力したものについては根拠資料を東京都に提出してください。

(注1) 「燃料等の種類」にバイオマス燃料又はその他の燃料を選択した場合に燃料等の名称を記載すること。  
 (注2) 把握方法を「購買伝票等」とした場合は、「入力方法」欄に「転記」を記入すること。  
 (注3) 化石燃料等以外の燃料で分析が必要な燃料については、分析の頻度を記入すること。  
 (注4) 「燃料等の名称」で入力した燃料等が混合燃料(木質チップと木質ペレット)の場合は、「燃料等の成分」欄に「混合燃料(RPF等)」を記入すること。  
 (注5) 混合燃料(RPF等)について「燃料等の成分」欄に「混合燃料(RPF等)」を記入すること。  
 (注6) 単位発熱量の算定根拠については、備考欄に記入すること。

**モニタリングポイント、計算方法に係る箇所については、東京都が通知した設備認定通知書と同じ内容を記入してください(変更が生じる場合については、あらかじめ設備認定の変更申請を行う必要があります。)**

設備名称 △△△バイオマス発電所

認証可能電力量に関する報告書

**※このシートは、申請の対象設備が「特定バイオマス発電」の場合にのみ作成してください。**

(3) 発熱量の月別内訳

2020 年度

モニタリング番号	燃料等の種類	燃料等の名称 ※(注1)	単位	都市ガス事業者 ※(注2)	単位発熱量 (GJ/固有単位)	発熱量[GJ]												
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(4)	バイオマス燃料	A社木質チップ			14.6	584	657	613	569	642	628	599	657	613	657	613	628	7,461
(5)	バイオマス燃料	B社木質チップ			14.1	705	719	705	733	691	719	705	691	719	719	733	747	8,587
(6)	A重油				39.1	35	27	17	9	8	8	12	18	14	11	16	12	187

燃料等の種類が都市ガスの場合については、供給事業者名称を記入してください。なお、特定温室効果ガス排出量算定ガイドラインでお示しする「東京ガス」「青梅ガス」「武陽ガス」「昭島ガス」以外のガス会社を採用しているときは、単位発熱量がわかる資料を提出してください。

「バイオマス燃料」「その他の燃料」については、組成分析、水分率等の測定結果をもとに、3(2)で記入した値を使用してください。その他については、再エネクレジット算定ガイドライン17ページで示す発熱量をご使用ください。

3(1)で入力した使用量及び単位発熱量の積により発熱量を算定してください。  
※燃料等の種類が都市ガスの場合については標準状態換算、LPGの場合については体積-重量換算等に注意してください。

バイオマス比率の計算方法 ※(注3)

木質チップは湿ベースの発熱量を採用し、単位発熱量及び水分率の分析は年度ごとに把握する。また、各モニタリングポイントは月ごとに数値を把握する。特にA重油の実測は特定計量器の写真撮影を根拠に帳票で管理する。

【バイオマス比率[%】 = 投入バイオマス熱量[GJ] ÷ { 投入バイオマス熱量[GJ] + 投入非バイオマス熱量[GJ] } × 100

【投入バイオマス熱量[GJ]】 = { (4)A社チップ購入量[t] × A社木質チップ発熱量[GJ/t] } + { (5)投入バイオマス熱量[GJ] }

【投入非バイオマス熱量[GJ]】 = { (6)A重油流量計の終値[kL] - (6)A重油流量計の初期値[kL] } × A重油発熱量[GJ/kL]

・設備認定(変更)申請書に記載した「計算方法」を記入してください。  
・年度の途中で設備の変更があり、バイオマス比率の算定方法が変わる場合は、**設備変更前の「計算方法」と設備変更後の「計算方法」を併記し、それぞれの計算方法を使用した期間が分かるように記入してください。**(【例】変更前:4月~10月、変更後:11月~3月)  
記載内容が多い場合は「別紙のとおり」とし、別紙に計算方法を記載して添付してください。

3(1)から(3)までの情報をもとに算定したバイオマス比率を記入してください。  
※バイオマス比率の年間値については、各月の平均値とはせずに、発熱量の年間合計値から算定した値を記入してください。  
※バイオマス比率は小数点2桁を切捨てにした値を記入してください。

(4) バイオマス比率

バイオマス比率[%]												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
97.3%	98.0%	98.7%	99.2%	99.4%	99.3%	99.1%	98.7%	98.9%	99.1%	98.8%	99.1%	98.8%

- (注1) 「燃料等の種類」にバイオマス燃料又はその他の燃料を選択した場合に燃料等の名称を記載すること。
- (注2) 都市ガス事業者を直接記入すること。
- (注3) モニタリングポイントごとの発熱量から算定すること。

**モニタリングポイント、計算方法に係る箇所については、東京都が通知した設備認定通知書と同じ内容を記入してください(変更が生じる場合については、あらかじめ設備認定の変更申請を行う必要があります。)**

単位発熱量が分かる資料を添えること。